



令和6年3月

目 次

1 事業概要	4
2 令和5年度実施状況	6
3 助成対象事業成果報告書	11

<定額助成（新たな取組へのチャレンジ）> 【令和3年度採択事業】

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

01. 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 〔「子どもの健やか排便習慣サポート事業」〕	14
--	----

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

02. 特定非営利活動法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩 〔地域のあそびば～ご近所顔見知り計画～〕	16
03. 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 〔多世代交流拠点としてのこども食堂普及事業〕	18

◇学齢期の子供に対する各種支援

04. 特定非営利活動法人体験型安全教育支援機構 〔就学前～低学年児童親子が安全にICTを活用していくための「はじめてのインターネット」教育啓発事業〕	20
---	----

◇若者が社会的に自立した生活を営むための支援

05. 特定非営利活動法人アクセプト・インターナショナル 〔非行少年の社会復帰に向けた情報提供・相談支援事業〕	22
--	----

【令和4年度採択事業】

◇地域の資源等を活用した結婚支援

06. 一般社団法人北沢おせっかいクラブ 〔結婚応援イベント シモキタ縁結日（えんむすび）〕.....	24
--	----

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

07. 特定非営利活動法人全国不登校新聞社 〔オンラインでもオフラインでも繋がれる「不登校の親の会」創設事業〕	26
08. 一般社団法人はじめのいっぽ 〔「制度のはざま」にいる親子が一歩踏み出すための、子育て支援シェアリングサービス。〕	28

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

09. 特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
〔WAKUWAKUおせっかえる活動～地域がつながる「おせっかいの循環」の仕組みづくり～〕 …… 30
10. 特定非営利活動法人dattochi home
〔あそび場だっとち事業〕 …… 32
11. 特定非営利活動法人読み聞かせネットワークヒッポ
〔本でつながる！本で笑顔に生きる！子育て応援プロジェクト～すべての子どもたちのために〕 …… 34

◇病気や障害等を抱える子供への支援

12. NPO法人エゴノキクラブ
〔小児がんの子どものリーダーシップ育成事業〕 …… 36

◇社会的養護に係る取組

13. 社会福祉法人日本国際社会事業団
〔社会的養護下にある外国籍児童に関する相談窓口〕 …… 38

◇学齢期の子供に対する各種支援

14. NPO法人プログラミング教育研究所
〔学習支援団体に対するプログラミング教室開催サポートとプログラミングコンテストの実施〕 …… 40
15. 特定非営利活動法人日本セクシュアルマイノリティ協会
〔子どもへの継続的な啓発を行うための教職員向けツールの開発と体制構築〕 …… 42

◇若者が社会的に自立した生活を営むための支援

16. 特定非営利活動法人One step音楽スタジオ
〔生き甲斐作りを探しながら、地域であたりまえに楽しく生きるための自立支援事業〕 …… 44

【令和5年度採択事業】

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

17. 公益社団法人東京都助産師会
〔パパ向け伴走型支援～「育休、取って良かった！」を目指して～〕 …… 46

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

18. 一般社団法人TOKYO PLAY
〔とうきょうご近所みちあそびプロジェクト〕 …… 48
19. 特定非営利活動法人Chance For All
〔あそび場100か所構想！～すべてのこどもたちが、自分の意思でアクセスできる自由なあそび場作り～〕
…………… 50

◇病気や障害等を抱える子供への支援

20. 特定非営利活動法人膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク
〔子どもの未来を切り拓く～膠原病移行期の親子並行交流プログラム〕 …… 52

21. 特定非営利活動法人芸術家と子どもたち 〔障害児による創造的体験の場づくりと施設間交流によるネットワーク形成〕	54
22. 特定非営利活動法人つばめの会 〔保健師および療育保育支援担当者に向けた偏食少食児への支援対応法の研修〕	56
23. 特定非営利活動法人渋谷なかよしぐるーぷ 〔暮らしに困難を抱えた子どもたちの居場所活動から地域、人とのつながりをつむぐプロジェクト〕	58

◇社会的養護に係る取組

24. 特定非営利活動法人町田フレンズサポート 〔移動駄菓子屋「ともだちひろば号」買い物体験事業〕	60
--	----

◇学齢期の子供に対する各種支援

25. 特定非営利活動法人キッズドア 〔在日外国人との異文化交流プロジェクト「English Drive Well-Being」〕	62
26. 特定非営利活動法人子育て・子育て支援タグボート 〔防災体験学習「たき火の学校」事業〕	64
27. 一般社団法人ANDMAMACO 〔すべての子どもが素晴らしい体験教育を受けられる社会に〕	66
28. 特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 〔子どものウェルビーイング「小学校向け教材開発と授業実施の仕組みづくり」〕	68

<実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）>

【令和4年度採択事業】

◇若者が社会的に自立した生活を営むための支援

29. 特定非営利活動法人POSSE 〔困難を抱える若者の生活再建をサポートするための労働・生活相談事業〕	72
--	----

【令和5年度採択事業】

◇学齢期の子供に対する各種支援

30. 特定非営利活動法人いけぶくろ大明 〔こどもタウン・nobitek 起業・経営体験プログラム〕	74
---	----

4 参考資料

子供が輝く東京・応援事業助成金交付要綱	77
---------------------	----

1

事業概要

◆背景

現在、東京は、かつて経験したことのないほど急速に少子高齢化が進展しており、令和4年の合計特殊出生率は1.04と全国最低となっています。

少子化の要因には、「未婚化・晩婚化」「初産年齢の上昇」「夫婦の出生力の低下」などがあると言われており、その背景として、結婚や子供を持つことへの価値観の多様化、子育てに対する負担感、不安定な就業状況など様々な要因が指摘されています。

子供を産み育てたいと望む人たちが安心して子育てし、子供たちが健やかに成長していく環境を整備することは、行政をはじめ社会全体が連携して取り組むべき課題です。

◆子供が輝く東京・応援事業とは

公益財団法人東京都福祉保健財団では、平成26年度に東京都が実施した「東京子育て応援ファンドモデル事業」を踏まえ、平成27年度より「東京子育て応援事業」を開始しました。

その後、平成29年度に行った事業検証を踏まえ、平成30年度より「子供が輝く東京・応援事業」として事業を再構築しました。

本事業は社会全体で子育てを支えることを目的として、都の出えん及び都民等からの寄附による「子供が輝く東京・応援基金」を活用し、NPOや企業等による結婚、子育て、学び、就労までのライフステージに応じた取組に対し助成を行うものです。

◆対象事業

少子化の要因を解消するための、ライフステージに応じた幅広い取組を支援します。



◆助成概要（令和5年度）

定額助成（新たな取組へのチャレンジ）		
対象者	都内に本社または事務所を有する法人 （法人格を有するなど一定の要件を満たす法人） 複数の法人や団体で構成される共同体による応募も可	対象経費 初期投資費用及び 事業運営経費
助成額	助成基準額1,000万円と助成対象として認められた経費と総事業費から 対象事業に係る寄附金その他収入を控除した額とを比較していずれか 低い額 （最大1,000万円を助成）	助成対象期間 ・最大3か年度 （令和3、4年度） ・最大2か年度 （令和5年度）
審査方法	書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象事業を決定	

実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）		
対象者	都内に本社または事務所を有する法人 （法人格を有するなど一定の要件を満たす法人） 複数の法人や団体で構成される共同体による応募も可	対象経費 初期投資費用及び 事業運営経費
助成額	助成基準額2,000万円と助成対象として認められた経費と総事業費から 対象事業に係る寄附金その他収入を控除した額とを比較していずれか 低い額に対し、成果に応じて1/4から3/4の助成率（定率1/4に指標の 達成状況により1/4～1/2を加えた率）を乗じた額 （最大1,500万円を助成）	助成対象期間 最大2か年度
審査方法	書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象事業を決定	



2

令和5年度実施状況

(1) 公募状況

◆スケジュール

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

令和5年6月27日～7月21日 申請受付（90法人申請）

令和5年9月28日 総合審査（プレゼンテーションによる審査）

令和5年9月28日 助成対象事業者決定（12法人）

◆選定結果

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	1件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	2件
病気や障害等を抱える子供への支援	4件
社会的養護に係る取組	1件
学齢期の子供に対する各種支援	4件

（法人別内訳）

NPO法人	9
その他非営利法人	3

◆応募者の状況（参考）

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

地域の資源等を活用した結婚支援	3件
妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	14件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	18件
病気や障害等を抱える子供への支援	9件
社会的養護に係る取組	3件
学齢期の子供に対する各種支援	30件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	8件
分野未記入	4件
（対象外）応募期間後の消印のもの	1件

（法人別内訳）

NPO法人 65（72%）、株式会社 7（8%）、社会福祉法人 6（7%）

その他非営利法人 9（10%）、その他営利法人 2（2%）

対象外 1〔応募期間後の消印〕（1%）

(2) 助成金交付

◆助成団体数

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

【令和3年度採択団体】

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	1件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	2件
学齢期の子供に対する各種支援	1件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	1件

(法人別内訳)	
NPO法人	5

【令和4年度採択団体】

地域の資源等を活用した結婚支援	1件
妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	2件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	3件
病気や障害等を抱える子供への支援	1件
社会的養護に係る取組	1件
学齢期の子供に対する各種支援	2件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	1件

(法人別内訳)	
NPO法人	8
社会福祉法人	1
その他非営利法人	2

【令和5年度採択団体】

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	1件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	2件
病気や障害等を抱える子供への支援	4件
社会的養護に係る取組	1件
学齢期の子供に対する各種支援	4件

(法人別内訳)	
NPO法人	9
その他非営利法人	3

〈実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）〉

【令和4年度採択団体】

若者が社会的に自立した生活を営むための支援	1件
-----------------------	----

(法人別内訳)	
NPO法人	1

【令和5年度採択団体】

学齢期の子供に対する各種支援	1件
----------------	----

(法人別内訳)	
NPO法人	1

◆助成額

82,601千円

(内訳)

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

令和3年度採択団体：16,357千円

令和4年度採択団体：33,357千円

令和5年度採択団体：25,872千円

〈実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）〉

令和4年度採択団体：6,328千円

令和5年度採択団体：687千円

◆令和3年度定額助成（新たな取組へのチャレンジ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
妊娠、出産、 育児期	特定非営利活動法人 日本トイレ研究所	「子どもの健やか排便習慣サポート事業」
多世代交流	特定非営利活動法人子どもと文化の NPO子ども劇場西多摩	地域のあそびば〜ご近所顔見知り計画〜
	特定非営利活動法人全国こども食堂 支援センター・むすびえ	多世代交流拠点としてのこども食堂普及事業
学齢期の 子供	特定非営利活動法人 体験型安全教育支援機構	就学前〜低学年児童親子が安全にICTを活用していく ための「はじめてのインターネット」教育啓発事業
若者支援	特定非営利活動法人 アクセプト・インターナショナル	非行少年の社会復帰に向けた情報提供・相談支援事業

◆令和4年度定額助成（新たな取組へのチャレンジ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
結婚支援	一般社団法人 北沢おせっかいクラブ	結婚応援イベント シモキタ縁結日（えんむすび）
妊娠、出産、 育児期	特定非営利活動法人 全国不登校新聞社	オンラインでもオフラインでも繋がれる「不登校の親 の会」創設事業
	一般社団法人はじめのいっぽ	「制度のはざま」にいる親子が一步踏み出すための、 子育て支援シェアリングサービス。
多世代交流	特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKUネットワーク	WAKUWAKUおせっかえる活動〜地域がつながる「お せっかいの循環」の仕組みづくり〜
	特定非営利活動法人 dattochi home	あそび場だっとち事業
	特定非営利活動法人 読み聞かせネットワークヒッポ	本でつながる！本で笑顔に生きる！子育て応援プロ ジェクト〜すべての子どもたちのために
病気や 障害等	NPO法人エゴノキクラブ	小児がんの子どものリーダーシップ育成事業
社会的養護	社会福祉法人日本国際社会事業団	社会的養護下にある外国籍児童に関する相談窓口
学齢期の 子供	NPO法人 プログラミング教育研究所	学習支援団体に対するプログラミング教室開催サポ ートとプログラミングコンテストの実施
	特定非営利活動法人日本セクシュ アルマイノリティ協会	子どもへの継続的な啓発を行うための教職員向けツ ールの開発と体制構築
若者支援	特定非営利活動法人 One step音楽スタジオ	生き甲斐作りを探しながら、地域であたりまえに楽し く生きるための自立支援事業

◆令和5年度定額助成（新たな取組へのチャレンジ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
妊娠、出産、育児期	公益社団法人東京都助産師会	パパ向け伴走型支援～「育休、取って良かった！」を目指して～
多世代交流	一般社団法人 TOKYO PLAY	とうきょうご近所みちあそびプロジェクト
	特定非営利活動法人 Chance For All	あそび場100か所構想！～すべてのこどもたちが、自分の意思でアクセスできる自由なあそび場作り～
病気や障害等	特定非営利活動法人膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク	子どもの未来を切り拓く～膠原病移行期の親子並行交流プログラム
	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち	障害児による創造的体験の場づくりと施設間交流によるネットワーク形成
	特定非営利活動法人つばめの会	保健師および療育保育支援担当者に向けた偏食少食児への支援対応法の研修
	特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ	暮らしに困難さを抱えた子どもたちの居場所活動から地域、人とのつながりをつむぐプロジェクト
社会的養護	特定非営利活動法人 町田フレンズサポート	移動駄菓子屋「ともだちひろば号」買い物体験事業
学齢期の 子供	特定非営利活動法人キッズドア	在日外国人との異文化交流プロジェクト「English Drive Well-Being」
	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグボート	防災体験学習「たき火の学校」事業
	一般社団法人ANDMAMACO	すべての子どもが素晴らしい体験教育を受けられる社会に
	特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	子どものウェルビーイング「小学校向け教材開発と授業実施の仕組みづくり」

◆令和4年度実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
若者支援	特定非営利活動法人POSSE	困難を抱える若者の生活再建をサポートするための労働・生活相談事業

◆令和5年度実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
学齢期の 子供	特定非営利活動法人いけぶくろ大明	こどもタウン・nobitek 起業・経営体験プログラム

3

助成対象事業 成果報告書

本報告書は、令和5年度助成対象となった30事業について
実施状況、今後の課題と対応等を各団体が報告するものです。

定額助成

(新たな取組へのチャレンジ)

「子どもの健やか排便習慣サポート事業」



実施期間

令和3年10月1日～令和5年9月30日

助成額

令和3年度：	1,215,000円
令和4年度：	5,063,000円
令和5年度：	1,268,000円
合 計：	7,546,000円

(賃金、報償費、印刷製本費、役務費、委託費)

事業概要・事業内容

【事業概要】

- 子どもの便秘は、離乳食の開始時期やトイレトレーニングの実施時期などに発症することが多いと言われている。しかし「排便」に関する情報は不足しており適切な処置がされないことがある。便秘を放置することは生活の質の低下につながるだけでなく、鈍い直腸をつくってしまうことで便秘の悪化を招いてしまう。
- そこで、子どもの便秘予防とともに健康的な排便習慣を身につけることを目的として、0～3歳児の保護者に、月齢・年齢ごとに知ってほしいトイレや排泄に関する情報を届ける事業を実施する。

【事業内容】

- 0～3歳児のトイレなどの困りごと実態調査
 - 子どもの排泄に関して、不安に思っていることや知りたいこと
 - トイレトレーニングを進めるうえで不安に思っていることや知りたいこと
 - 子どもの栄養や睡眠で不安に思っていることや知りたいこと
- 「子どもの健やか排便習慣サポートBOOK」

子どもの排便に関する情報を中心に、栄養、睡眠、災害時のトイレ対応も含め、マンガで分かりやすく

理解できる冊子を作成する。

内容案：調査結果概要/うんちの困りごと/トイレトレーニングの困りごと/食事・栄養の困りごと/睡眠の困りごと/災害時のトイレ

- 「子どもの健やか排便習慣サポートムービー」

冊子以外でも手軽に情報を取得できるように「子どもの健やか排便習慣サポートBOOK」で作成したマンガに音声吹き込みマンガ動画を制作する。
- 「子どもの健やか排便習慣サポート情報サイト」

調査の結果や制作物、そのほかの情報を発信する情報サイトを作成する。
- 「子どもの健やか排便習慣サポート講習会」

保護者および保育士などを対象に、専門家を招いたオンライン講習会を実施する。

プログラム案：

第1回：排便と栄養をつなげて考える
第2回：排便と睡眠をつなげて考える
第3回：排便と栄養と睡眠をつなげて考える

〈講義1〉『子どもの便秘ケアは最初が肝心』
〈講義2〉『乳幼児の食事と栄養』
〈講義3〉『赤ちゃんの脳の発達と睡眠の発達』

成果目標・事業計画

【成果目標】

- 「子どもの健やか排便習慣サポートムービー」の視聴回数
都内の保育園3,862園（令和2年4月時点）に案内を送付し、全園で視聴、1万回再生
- 「子どもの健やか排便習慣サポート講習会」における参加者数
3回実施（延べ900名）
 - ・講習会は録画し、期間を設け公開する
 - ・保育園を通して案内する
- 講習会参加者へアンケートの実施
「排便の重要性を理解したか」「どのような状態が便秘であるかを理解したか」「便秘改善の考え方を理解したか」の項目に対し「理解した」の回答が全体の70%以上を目標とする。

【事業計画】

- 令和3年10～12月
0～3歳児のトイレに関する困りごと調査実施
- 令和4年1～8月
「子どもの健やか排便習慣サポートBOOK」内容案の作成、制作
- 令和4年8～9月
「子どもの健やか排便習慣サポートムービー」の制作
- 令和4年10～12月
「子どもの健やか排便習慣サポート情報サイト」の制作
- 令和5年1～9月
「子どもの健やか排便習慣サポート講習会」実施（3か月に1回、全3回実施）

実施状況・成果

【実施状況】

- 「子どもの健やか排便習慣サポート講習会」
 - 第2回（6/29実施）
 - ・テーマ：0～3歳児の排便・睡眠に関する留意点
 - ・スケジュール
4月：プログラム・開催案内の作成、発送準備
5月：講師との調整、都内保育所へ案内発送、参加者募集開始
 - 第3回（9/14実施）
 - ・テーマ：0～3歳児の排便・食事・睡眠に関する留意点
 - ・スケジュール
4月：プログラム・開催案内の作成、発送準備
5月：講師との調整、都内保育所へ案内発送、参加者募集開始

【成果】

- 「第2回・第3回子どもの健やか排便習慣サポート講習会」の開催案内を3,985か所の都内保育所に届け講習会への参加を促すことにより、保育所における排便を切り口にした乳幼児期における健康管理への関心を高めることができた。一定数保護者の参加もあり、保護者への広がりも感じられた。



- 講習会の視聴者数
第2回 約731名、第3回 約460名
- 講習会の参加者アンケート
 - 第2回
 - ・「とても良かった」72.4%「良かった」27.2%
 - ・乳幼児の便秘ケアについての理解
「とても深まった」62.2%「深まった」37.0%
 - ・乳幼児の睡眠についての理解
「とても深まった」61.0%「深まった」36.6%
 - 第3回
 - ・「とても良かった」69.9%「良かった」28.0%
 - ・乳幼児の便秘ケアについての理解
「とても深まった」60.1%「深まった」37.8%
 - ・乳幼児の食事と栄養についての理解
「とても深まった」59.4%「深まった」38.5%
 - ・乳幼児の睡眠についての理解
「とても深まった」58.7%「深まった」39.2%

課題と対応

- 子どもの便秘ケアに関する情報を多くの施設が求めていることが確認できた。便秘ケアで困っている施設を見つけることや継続的に情報を届けることが課題である。今回の参加者となつながらのある施設への案内やSNSによる情報発信、また困りごとのケース別講習会などについて検討する。

団体にとっての効果

- 排便だけでなく、食事や睡眠とセットで情報提供することにより、それぞれのつながりの重要性を届けることができた。また質疑の時間を多めに確保したことにより、現場の課題や具体的なニーズを把握することができた。

所在地：東京都青梅市勝沼3-78 KTホール2階 URL：https://gekijo.hiho.jp/

地域のあそびば ～ご近所顔見知り計画～



実施期間

令和3年10月1日～令和6年3月31日

助成額

令和3年度：	971,000円
令和4年度：	4,152,000円
令和5年度：	4,877,000円
合 計：	10,000,000円
(賃金、報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料・賃借料)	

事業概要・事業内容

【事業概要】

- 子どもや保護者が安心して、地域とつながり生活および子育てをしていくためには、小学校区での面識社会を広げ「ご近所顔見知り」をつくるのが大切である。
- 本事業では、小学校区という小さな単位に住む乳幼児～高齢者までが、月に1度の文化体験やあそびを通して多世代交流を行う中で、自然と顔なじみになり子どもの成長を見守る人の輪ができることで、子育てを支援することを目的としている。

【事業内容】

- 対象：各小学校区の乳幼児親子・学齢期の児童・子育て世代の保護者・高齢者など
- 開催日時：月に1回（土日のいずれか）、2時間程度、年間12回を基本として開催
- 会場：各小学校区域の地域住民が行きやすい公共施設など
- 内容：絵本や紙芝居の読み聞かせ・参加者同士のコミュニケーションにつながるレクリエーション/野外活動ができる施設では、絵の具を使った巨大お絵かきやシャボン玉あそび/季節の工作/季節行事（お餅つきなど）/相談支援（気軽にできる子育てに関するおしゃべり）/各あそびばにアーティストを派遣

○アーティスト派遣詳細：

各あそびばで年に1回ずつ、舞台芸術鑑賞（コンサートやパフォーマンスなど）と文化体験ワークショップ（アーティストを講師としてダンス・狂言・和太鼓・影絵など）を開催

成果目標・事業計画

【成果目標】

- 参加者
令和4年度
1か所20名×5か所×12回＝1,200名
令和5年度
1か所20名×7か所×12回＝1,680名
計、延べ2,880名目標
- 参加者、保護者へのアンケート
毎回参加者にアンケートをとり、事業への満足度を5段階で評価してもらい、平均4以上を目標とする。また半年に1度別のアンケートをとり「地域に顔見知りが増えた」の項目について、増えたとの回答が70%以上を目標とする。

【事業計画】

- 令和3年11月
●対象候補地域向け説明会および学習会
- 令和3年12月
●各あそびば、準備会の発足

- 令和4年1～3月
 - 各あそびば、準備会
- 令和4年2月
 - 各あそびば、チラシ作成
 - 当法人ホームページ・SNSにて広報開始
- 令和4年3月
 - 各あそびば、チラシ配布
- 令和4年4月～
 - 各あそびば、毎月1回定期開催
 - 各あそびば、スタッフミーティング（2か月に1回～毎月1回）
- 令和4年9月
 - あそびばネットワーク学習会（各地域のスタッフ・ボランティアが集まり活動交流・学習）
 - 次年度新規候補地域向け説明会
- 令和4年12月
 - 次年度実施地域の決定（2か所）
- 令和5年2月
 - 次年度チラシ作成・配布
- 令和5年9月
 - あそびばネットワーク学習会（各地域のスタッフ・ボランティアが集まり活動交流・学習）
- 令和6年3月
 - 活動報告書の作成

実施状況・成果

【実施状況】

- 7地域でのあそびばの開催
 - 令和4年度に5カ所だった西多摩地域でのあそびばを7カ所に増やし、各あそびばにて毎月1回「地域のあそびば」を開催した。（新規あそびば：青梅市立河辺小学校区、青梅市立友田小学校区）
 - 毎月1～2回あそびばごとにスタッフミーティングを行い、毎月の企画、準備、振り返りなどを行った。各あそびばの状況に応じて工夫をしながらミーティングを重ねた。
来年度からあそびばの開催を検討している青梅市勝沼地域でプレ開催した。（10/8、1/13）
- あそびば交流会の開催
 - 開催日：4/27、6/13、7/24、12/7、1/27
 - 各あそびばの実施状況や課題などの共有、ディスカッション、文化体験事業の説明や打合せを行い、1/27は2年間を振り返ってのまとめを行った。
- あそびば学習会の開催
 - 1/14：「見えない根っこが育つとき」
 - 3/3：「地域に有効な文化体験活動のセッティング～より充実した地域活動のために～」
- 文化体験事業の実施
 - 各あそびばで年に12回開催するイベントのうち、2回を文化体験とあわせて実施した。来年度からあそびばの開催を検討している青梅市勝沼地域でも文化体験のみ実施した。



【成果】

- 「ご近所顔見知り計画」についてのアンケートを実施し「顔見知りは増えましたか」という質問に対し、有効回答数111名のうち95名（86％）が「顔見知りが増えた」と回答した。あそびばの開催が定着することで顔見知りが増え、コロナ禍により進んだコミュニティの希薄化という社会問題に対する各地域の解決策のひとつとなった。
- 小学校では連絡網も配られず、親同士につながりがなければあそびの誘いもできない中、あそびばで知り合った子どもや保護者同士が、登下校などで声を掛け合うことが増えた。あそびばを通じて、気楽に話し掛けることのできるご近所の方が確実に増えているという実感が得られた。

課題と対応

- 参加人数が少ない地域・回があった。
地域によって学校との連携スタイルが異なり、連携の強い地域では学校メールでもあそびばのお知らせがされるため、数か月に一度のチラシ配布では得られない周知効果があり、70名を超える参加者がある。かなり珍しいケースではあるが、そのような学校との連携スタイルも可能な地域では進めていきたい。

団体にとっての効果

- 令和4年度からあそびばを実施している地域では、多様なスタッフが集まる中、当法人があそびばで大切にしたいこと（子どもに何かをさせるだけではなく共にあそぶこと、競争や見返りではなくあそびそのものを楽しむこと）が共有され、あそびばの質が変化しているという報告があった。